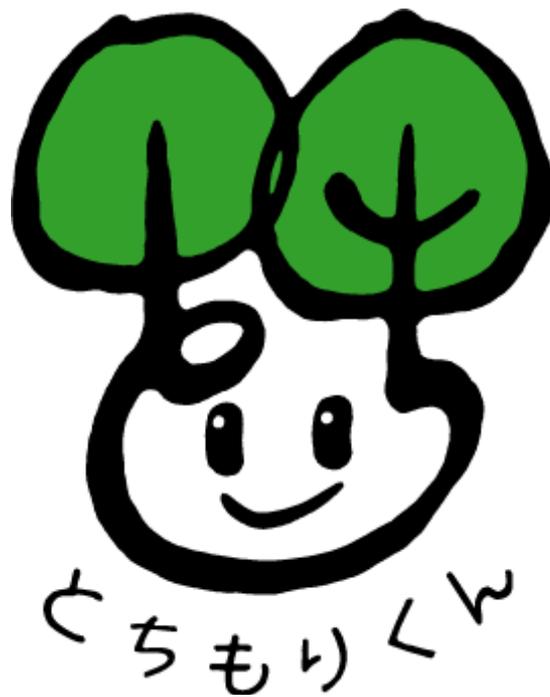


平成21年度

とちぎの元気な森づくり県民税事業

評価報告書



平成22年9月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

目 次

総合評価	・・・・・・・・	p 1
平成21年度事業実績概要	・・・・・・・・	p 2
1．とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	・・・・・・・・	p 3
2．明るく安全な里山林整備事業	・・・・・・・・	p 4
3．元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	・・・・・・・・	p 5
4．とちぎ森づくり情報センター事業	・・・・・・・・	p 6
5．とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業	・・・・・・・・	p 7
6．森林環境学習推進事業	・・・・・・・・	p 8
7．とちぎの元気な森づくり県民会議事業	・・・・・・・・	p 9
8．とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業	・・・・・・・・	p 10
9．とちぎの元気な森づくり県民広報事業	・・・・・・・・	p 11
10．みんなの元気な森づくり支援事業	・・・・・・・・	p 12
11．森林環境学習支援事業	・・・・・・・・	p 13
12．木の香る環境づくり支援事業	・・・・・・・・	p 14
13．特色ある緑豊かな地域推進事業	・・・・・・・・	p 15

(資 料)

各事業関係資料	・・・・・・・・	p 17
税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見	・・・・・・・・	p 61
とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会	・・・・・・・・	p 63

総 合 評 価

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会では、税の使途の透明性・公平性を確保するため、これまで現地調査を含め3回の委員会を開催し、平成21年度税事業の実施状況の評価について議論を行ってきた。

その結果、ここに評価報告書として取りまとめたので、今後とも、この税による森林の公益的機能の維持、増進への取組が、県民の皆様にとってより良いものとなるよう、本報告書に基づき一層推進されることを期待する。

評価

平成21年度に実施された、奥山林整備、里山林整備、森を育む人づくりのすべての事業について、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。

- ・ なお、奥山林整備事業の伐り捨て間伐方式については、各方面からの意見、地形等森林の循環利用を可能にする条件、森林・林業再生プランの達成に向けて搬出間伐への転換等を掲げた国の施策動向など森林・林業を取り巻く状況の変化等を踏まえ、今後見直しを行うこと。

個別の課題・改善点

とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業について

所有者による将来の自発的な森林管理等を見据え、間伐材の利用促進や作業路などの整備についてさらに検討を進めること。

獣害対策について、今後、効率性の観点から事業内容を見直すことにより、より多くの面積での対策が可能となるよう検討を行うこと。

元気な森を育む木の良さ普及啓発事業及び森林環境学習推進事業について

木製学習用机・いすの配布や森林環境学習資料の活用にあたっては、配布の趣旨を児童・生徒に説明することなどにより、森林の大切さや森づくりの必要性などに対する理解を一層深められるよう、県や市町の教育委員会と十分連携を図ること。

とちぎの元気な森づくり県民広報事業について

里山林整備箇所への看板の設置などについて、税事業で実施していることの表記をより目立つよう工夫し、税に対する県民の理解促進に努めること。

平成22年9月

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

平成21年度事業実績概要

	(計 画 額)	(実 績 額)
(1) 財源	1,133,915 千円	1,144,471 千円

	(計 画)	(実 績)
1 とちぎの元気な森づくり基金	942,415 千円	958,971 千円
(内訳) とちぎの元気な森づくり県民税収相当額	851,000 千円	865,289 千円
寄附金	- 千円	2,299 千円
利子	50 千円	18 千円
基金残金	91,365 千円	91,365 千円
2 国庫補助金	191,500 千円	185,500 千円

	(計 画 額)	(実 績 額)
(2) とちぎの元気な森づくり県民税事業費	1,133,915 千円	1,013,339 千円

(奥山林整備事業の国庫補助金を含む。)

(事業名)	(計 画)	(実 績)	(実績率)
		[全体事業費に占める率]	
1 とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業	707,440 千円	652,978 千円	
(間伐面積) 2,627 ha		2,663 ha [64.4%]	101.4%
(獣害対策面積) 357 ha		357 ha	100.0%
2 明るく安全な里山林整備事業	664 ha 286,155 千円	700 ha 237,932 千円	105.4%
		[23.5%]	
3 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業	2,000 セット 55,000 千円	2,000 セット 47,544 千円	100.0%
		[4.7%]	
4 とちぎ森づくり情報センター事業	8,644 千円	7,890 千円	
		[0.8%]	
5 とちぎ森の楽校(がっこう)事業	7,878 千円	5,497 千円	
		[0.5%]	
6 森林環境学習推進事業	4,502 千円	4,462 千円	
		[0.4%]	
7 とちぎの元気な森づくり県民会議事業	5,852 千円	5,827 千円	
		[0.6%]	
8 とちぎの元気な森づくり 県民税事業評価委員会事業	813 千円	531 千円	
		[0.1%]	
9 とちぎの元気な森づくり県民広報事業	7,781 千円	7,363 千円	
		[0.7%]	
10 みんなの元気な森づくり支援事業	6,800 千円	6,266 千円	
		[0.6%]	
11 森林環境学習支援事業	4,800 千円	4,506 千円	
		[0.4%]	
12 木の香る環境づくり支援事業	33,400 千円	27,693 千円	
		[2.7%]	
13 特色ある緑豊かな地域推進事業	4,850 千円	4,850 千円	
		[0.5%]	

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

事業の内容・実績

- ・手入れが行き届いていないスギ・ヒノキの人工林で間伐を行う。
- ・クマやシカなどの獣害から樹木を守るための対策を行う。

・平成21年度実績	
整備面積	間伐 2,663ha(17市町 92箇所)
	獣害対策 357ha(6市町 593箇所)
決算額	652,978千円(うち国庫補助金168,267千円)

評価 (資料p17~34参照)

1 有効性 : 事業によって得られた効果

- (1) 間伐〔便益計算〕
 - ・187千円/haの整備費に対して、洪水防止や土砂流出防止など1,444千円/haの便益が得られた。
- (2) 獣害対策〔アンケート調査〕
 - ・防止資材を設置した樹木はほとんどが「被害なし」であり、森林所有者の今後の森林の適正管理に対する前向きな回答が9割以上あったことなどから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- (1) 間伐
 - ・1ha当たり整備費は他県よりも安価となっているが、これは、他県では間伐材の林内集積や作業路などの整備を実施していることによる。
- (2) 獣害対策
 - ・1ha当たり対象経費は他県よりも高価となっているが、これは、設置資材(ネット:テープ)の違いによる資材単価の差に加え、他県では設置資材の購入のみを対象経費とし、設置については森林所有者が自ら行うといった取組内容の違いによる。

3 進ちょく度 : 計画に対する事業の進みぐあい

- (1) 間伐
 - ・計画面積2,627haに対し、2,663haを整備した。
- (2) 獣害対策
 - ・計画どおり357haを整備した。

平成21年度事業の成果	・15年以上手入れがされず機能の低下した2,663haの森林における間伐と、357haの野生獣被害森林への剥皮被害防止対策の実施により、森林の公益的機能が向上した。
今後に向けた課題	・間伐については、将来の森林管理等を見据え、平成22年度に創設した間伐材のバイオマス利用や作業路などの整備を支援するモデル事業の実施状況、これまでの事業成果、国の施策動向などを踏まえ、間伐材の利活用の促進や作業路の整備についてさらに検討を進める必要がある。 ・獣害対策については、被害の状況や事業に対する要望の状況などから、より多くの面積での対策実施が課題である。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。 ・ただし、獣害対策について、今後、効率性の観点から事業内容を見直すことにより、より多くの面積での対策が可能となるよう検討を行うこと。

2. 明るく安全な里山林整備事業

事業の内容・実績

- ・身近な里山林を、住民が将来まで守り育てる地域の憩いの場などに再生したり、通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保したり、野生獣被害を軽減するために整備する。

・平成21年度実績
整備面積 700ha(全市町 142箇所)
決算額 237,932千円

評価 (資料p35～50参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

- (1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備
 - ・美しい景観になったと思う人、自然観察等をしやすくなったと思う人が共に9割を超えていることから、事業の有効性が認められる。
- (2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備
 - ・通学時の児童生徒及び住宅地周辺での安全・安心が向上したと思う人が共に9割を超えていることから、事業の有効性が認められる。
- (3) 野生獣被害軽減のための里山林整備
 - ・イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思う人が約8割に及んだことから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・同様の整備を実施している他県と比較すると、1ha当たりの整備費は本県の方が安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- (1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備
 - ・計画面積228haに対し、241haを整備した。
- (2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備
 - ・計画面積91haに対し、90haを整備した。
- (3) 野生獣被害軽減のための里山林整備
 - ・計画面積345haに対し、369haを整備した。

計 ・計画面積664haに対し、700haを整備した。

平成21年度事業の成果	<ul style="list-style-type: none">・一部のメニューでは実績が計画を若干下回ったものの、里山林整備全体では計画を上回り、里山林の持つ公益的機能の向上や通学路等の安全安心、野生獣被害の軽減が図られた。・アンケート調査では、事業に対する肯定的な意見が8～9割を占め、景観の保全や利用しやすさの向上に対しての有効性が認めらるとともに、地域全体で里山林を保全していく意識の高まりが見られた。
今後に向けた課題	<ul style="list-style-type: none">・里山林を将来にわたり適正に維持していくためには、継続的に地域住民の責任において管理していく必要があることから、地域での体制づくりや気運の醸成を図っていくことが重要である。・里山林整備の各メニューについては、市町村の要望や事業の実施状況を踏まえながら整備を進めていく必要がある。
評価	<ul style="list-style-type: none">・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

事業の内容・実績

- ・奥山林整備事業で発生した間伐材を活用し、木製学習用机・いすを小中学校に配布する。

・平成21年度実績
配布数 2,000セット(13市町 31校)
決算額 47,544千円

評価 (資料p51参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・配布校の教諭全員が、県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思っていることなどから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・1セット当たりの事業費は前年度よりも安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり2,000セットを配布した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、すべての配布校の教諭が事業の有効性について評価しており、木材を利用することが健全な森林の維持につながることを理解が深まった。
今後に向けた課題	・木材を使用することが、健全な森林の維持に必要であることへの理解促進のため、より多くの市町・小中学校に木製学習用机・いすが配布されるよう継続して取り組む必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。 ・ただし、今後、配布の趣旨を児童・生徒に説明することにより、森づくりの必要性などに対する理解を一層深められるよう、県や市町の教育委員会と十分連携を図ること。

4. とちぎ森づくり情報センター事業

事業の内容・実績

- ・ “ とちぎの森づくり ” ホームページの運営や、森づくり活動のサポートなどを行う。

・平成21年度実績
決算額 7,890千円

評価 (資料p52参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・会員の8割以上がグループ活動に役立ち、このホームページができてよかったと考えていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、1アクセス当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・「とちぎの森づくり」は平成21年3月に開設した新しいサイトであり、利用者が登録して情報を書き込むという仕組みへの理解促進が十分ではなかったことから、平成21年度の登録者は56人と計画を下回った。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、会員の8割以上が事業の有効性について評価しており、県民の森づくり活動への参加促進が図られた。
今後に向けた課題	・森づくり活動への参加募集や活動事例の紹介など、ホームページの情報の充実を図る必要がある。また、引き続き、森づくり情報センターやホームページの周知を図る必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されているものと認められる。 ・ただし、ホームページの登録者数が計画を下回ったことから、ホームページ「とちぎの森づくり」の周知と内容の充実を図る必要がある。

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

事業の内容・実績

- ・森林に親しんだり、森づくり活動を行う人材の育成を図る体験講座を開催する。

・平成21年度実績 決算額 5,497千円

評価 (資料p53参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・参加者の9割以上が、この講座が今後の森づくり活動に役立つと感じており、今後も、森づくり活動や森の大切さの普及活動に取り組みたいと考えていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は同額であり、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり、13講座(16回)を実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、参加者の9割以上が事業の有効性について評価しており、県民の森づくり活動への参加促進が図られた。
今後に向けた課題	・広く本事業の周知を図り、より多くの県民の参加を促進する必要がある。また、実績を検証しながら、講座の内容について工夫していく必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

6 . 森林環境学習推進事業

事業の内容・実績

- ・子どもたちの森づくり体験活動や指導者研修を行う。

・平成21年度実績
決算額 4,462千円

評価 (資料p54参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 森林環境学習等実施・指導者研修

- ・参加者のほとんどが子どもたちに役立つ取組と感じ、全ての参加者が今後も森林環境学習に取り組みたいと思っていることから、事業の有効性が認められる。

(2) とちぎ森の子サミット

- ・参加者の9割以上が、このイベントに参加して森林について理解できたと感じており、今後も参加したいと思っていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は概ね同額であることから、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、23団体への支援、指導者研修1回、とちぎ森の子サミット1回を実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、参加者の9割以上が事業の有効性について評価しており、森林環境学習の推進が図られた。
今後に向けた課題	・教職員等指導者の森林に対する理解促進を図るため、森林環境学習資料「とちぎの森林・自然環境」を有効活用し、森林環境学習の推進につなげていく必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。 ・ただし、今後、「とちぎの森林・自然環境」を有効活用し、児童・生徒が森林の大切さなどに対する理解を一層深められるよう、県や市町の教育委員会と連携を図ること。

7. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

事業の内容・実績

- ・ “ とちぎの元気な森づくり ” の推進母体である「 とちぎの元気な森づくり県民会議 」において、森づくり体験活動など、森や木に親しみ、森を知る身近な活動を行う。

・平成21年度実績
決算額 5,827千円

評価 (資料p55参照)

木の教育資材開発提供事業

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 児童

- ・児童の約9割が、ほかに木を使って工作したり、木でできたものを使いたいと思うと回答していることから、事業の有効性が認められる。

(2) 教諭

- ・回答した教諭のほとんどが、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じていることなどから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・資材1セット当たりの事業費は前年度と同額となっており、効率性は確保されている。

3 進捗度

- ・計画どおり、1,000セットを配布した。

平成21年度事業の成果	・小学校に木工工作の教材を配布し、木づかいスタッフ等の指導のもと木工体験活動に取り組んだ結果、児童、教諭の約9割が事業の有効性について評価しており、木の良さや木を使うことの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・より多くの児童に木の良さや木を使うことの大切さを理解してもらうため、多くの小学校で取り組めるよう、継続して事業を実施する必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

8. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

事業の内容・実績

- ・事業の執行状況や効果等について評価・検証を行うとともに、事業の推進に必要な事項を検討する。

・平成21年度実績
決算額 531千円

評価 (資料 p 5 6 参照)

1 有効性

- ・平成20年度のとちぎの元気な森づくり県民税事業の評価を行い、改善すべき点について報告書にとりまとめ県に提出した。それを受けて以下の点において改善が図られた。
森林バイオマス利用モデル事業を実施 (H22～)
里山林整備事業の整備単価を一部見直し (H22～)
元気な森を育む木の良さ普及啓発事業において間伐材を使用したベンチを製作・配布 (H22～)
森林環境学習テキストの改訂・発行 (H22)
税事業実施箇所を県民に視察していただくバスツアーを実施 (H21～)
- ・平成21年度から実施した、奥山林整備事業の獣害対策及び特色ある緑豊かな地域推進事業の評価手法等について決定した。

2 効率性

- ・委員数や開催回数が近い他県と比較すると、委員会1回当たりの事業費は安価となり、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・平成20年度に実施した税事業の評価を行った。

評価委員会開催等経過

H21. 6.18 第1回評価委員会：現地調査実施 塩谷町、矢板市、高根沢町
H21. 7. 9 第2回評価委員会：平成20年度事業の評価
H21. 8.31 第3回評価委員会：平成20年度事業評価報告書等
H21. 9.15 評価報告書の提出・公表
H21.12.17 第4回評価委員会：平成21年度開始事業の評価手法等

平成21年度事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度事業の評価を行い、その結果を公表するとともに、平成21年度から開始した事業の評価手法等を決定した。 ・平成20年度事業の評価を受け、平成22年度事業では森林バイオマス利用モデル事業や里山林整備事業の単価の一部見直し、間伐材を活用したベンチの配布などが実施されることとなった。
今後に向けた課題	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の評価・検証を通して明らかになった課題などを次年度以降の事業に生かしていく。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・当該事業は、概ね効果的、効率的に実施され、適正な運営が行われた。

9. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

事業の内容・実績

- ・ “ とちぎの元気な森づくり ” の趣旨や事業内容等について広報活動を行う。

・平成21年度実績
決算額 7,363千円

評価 (資料p56参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・税の認知度について、少なくとも「名称は知っている」という回答者が全体の7割に達しており、特に「名称も税額も知っており、かつ税の使い道も知っている」という回答者が昨年度の15.0%から18.4%に増加していることから、事業の有効性が認められる。

ただし、アンケート調査の回答者は県の環境森林に関するイベントの来場者が主であることから、環境・森林分野に対する意識が比較的高い方が多いものと推測される。

2 効率性

- ・本県と税による全体事業費が近い他県と比較すると、本県の方が納税義務者1人当たりの事業費が高くなっている。これは本県においては、比較県で実施していないテレビ・新聞広告を実施していることが主な要因と考えられる。

3 進ちょく度

- ・計画どおり、パンフレット作成43,000部、テレビ・ラジオ188回、新聞広告1回を実施したことに加え、税事業実施箇所を県民に案内するバスツアーも5回実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、環境・森林分野に対する意識が比較的高い方が多いものと推測されるが、税の使い道を知っている方が若干増えており、税に対する認知度の向上が図られた。
今後に向けた課題	・本事業のみならず里山林整備箇所への看板設置や間伐材を活用したベンチの配布などについて、税事業で実施していることの表記を目立つよう工夫し、税に対する県民の理解促進に努めていく。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

10. みんなの元気な森づくり支援事業

事業の内容・実績

- ・市や町が行う住民やボランティアを対象とした森づくり活動などを支援する。

・平成21年度実績
決算額 6,266千円

評価 (資料p57参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・すべての市町が、とちぎの元気な森づくり県民税でこの事業が行われたことはよかったと回答していることから、事業の有効性が認められる

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、事業を実施した1団体当たりの事業費は概ね同額となっており、効率性は確保されている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、16市町で実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、すべての市町が事業の有効性について評価しており、さらに実施市町数が昨年度の8から16に増加したことから、市民やボランティアによる森づくり活動の活発化及び森林の大切さへの理解促進が図られた。
今後に向けた課題	・多くの県民に森林の大切さの理解促進を図るため、実施市町数の拡大を図る必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

1 1 . 森林環境学習支援事業

事業の内容・実績

- ・市や町が行う子どもたちを対象とした地域での自然観察会や森づくり体験活動などを支援する。

・平成21年度実績
決算額 4,506千円

評価 (資料p58参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・すべての市町が、今後もこの事業を積極的に活用すると回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は概ね同額となっており、効率性は確保されている。

3 進捗度

- ・計画どおり、12市町で実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、すべての市町が事業の有効性について評価しており、さらに実施市町数が昨年度の10から12に増加したことから、子どもたちに対する森林環境学習の促進が図られた。
今後に向けた課題	・将来を担う多くの子どもたちに森林の大切さの理解促進を図るため、実施市町数の拡大を図る必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗しているものと認められる。

12. 木の香る環境づくり支援事業

事業の内容・実績

- ・市や町が行う公共施設等の木造・木質化や地域における木の良さ普及啓発活動などを支援する。

・平成21年度実績
決算額 27,693千円

評価 (資料p59参照)

1 有効性

[アンケート調査]

- ・すべての市町が、この事業により実施したイベント等による市町民等の反応が好評であったと回答していることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

- ・施設整備事業については、木材1m³あたりの事業費が前年度実績と比較すると高価になっているが、これは、材料及び施工費の比較的高い内装木質化及び四阿等の整備が中心であったことによる。
- ・木の良さ普及啓発事業については、参加者1人当たりの事業費は前年度と概ね同額となっている。

3 進捗よく度

- ・計画どおり、木の良さ普及啓発活動64回などを実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、すべての市町が事業の有効性について評価しており、木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について理解が深まった。
今後に向けた課題	・木材の利用が森林保全に果たす役割の重要性について、より一層の理解促進が図られるよう、今後も事業を継続していく必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進捗よくしているものと認められる。

13. 特色ある緑豊かな地域推進事業

事業の内容・実績

- ・広域的な森づくり活動など、地域の創意工夫を凝らした特色ある取組を支援する。

・平成21年度実績
決算額 4,850千円

評価 (資料p60参照)

1 有効性

〔アンケート調査〕

(1) 森づくり活動

- ・参加者の9割以上が、この活動により森づくりについての理解が深まり、今後の森づくり活動に役立つと考えていることから、事業の有効性が認められる。

(2) 樹木保全

- ・地域住民の約9割が、この事業の実施により、地域のシンボルとなっている樹木を守り、将来に引き継いでいく意識の高まりに役立ったと考えていることから、事業の有効性が認められる。

2 効率性

(1) 森づくり活動

- ・類似事業に取り組んでいる他県と比較すると、参加者1人当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

(2) 樹木保全

- ・樹木保全：過去に実施していた類似事業と比較すると、保全した樹木1本当たりの事業費は安価となっており、効率性は確保されている。

3 進ちょく度

- ・計画どおり、5市町で実施した。

平成21年度事業の成果	・アンケート調査では、参加者や地域住民の約9割が事業の有効性について評価しており、地域住民や都市住民などが共に参加する森づくりが促進されるとともに、森づくりや身近なみどりを守り育てることの大切さについて理解が深まった。
今後に向けた課題	・県内の多くの市町で取り組まれるよう事業制度の普及に努める必要がある。一方、事業の採択にあたっては、税の趣旨に照らしながら、今後とも慎重な審査を行う必要がある。
評価	・当該事業は、概ね効果的、効率的に執行されており、計画どおりに進ちょくしているものと認められる。

(資 料)

1. とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業

1 有効性

(1) 間伐：便益計算

便益区分	評価額 (千円) A	整備面積 (ha) B	ha当たり評価額 (千円/ha) A/B	備考
洪水防止便益	1,681,760	2,663	632	整備による降雨流出量減少分を治山ダムで機能代替させる場合のコスト
水質浄化便益	695,617		261	整備による土壌内浸透降雨増加量を施設により浄化する場合のコスト
土砂流出防止便益	1,467,751		551	整備による低減される土砂流出量を保全する砂防ダム建設コスト
計	3,845,128	2,663	1,444	

評価額は「林野公共事業における事前評価マニュアル」に基づき算出

(2) 獣害対策：アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	野生獣による剥皮被害を防止する対策を実施した森林の所有者 102名
【実施時期】	平成22年5～6月
【調査結果】 アンケート対象 98人	
1 今回実施した獣害対策により、森林の被害状況はどう変化しましたか。	<ul style="list-style-type: none"> ・防止資材を設置した樹木： 「被害なし」98%、 「被害あり」2% (被害率3%～10%) ・防止資材未設置の樹木： 「被害なし」80% 「被害あり」20% (被害率2%～10%)
2 獣害対策の実施によって、野生獣による森林被害は減ると思いますか。	「非常に減ると思う」19%、「少し減ると思う」45%、「あまり減るとは思わない」24%、「わからない」12%
3 今後獣害対策を実施した森林を適切に管理していこうと思いますか。	「そう思う」47%、「ある程度思う」46%、「思わない」0%、「わからない」7%
4 とちぎの元気な森づくり県民税により、奥山林の獣害対策が実施されて良かったと思いますか。	「とても良かった」61%、「良かった」37%、「良くなかった」0%、「わからない」2%

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
国庫補助活用事業	2,280	452,000	2,309	400,018	173
森づくり県民税単独事業	347	55,000	354	53,671	152
事業推進費		46,000		45,065	
間伐実施 計	2,627	553,000	2,663	498,754	187
獣害対策	357	154,440	357	154,224	432

国庫補助活用事業及び整備事業合計の予算額及び決算額は、国庫補助金を含む。

(効率性に関する比較検討)

(1) 間伐

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	187 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数率で概ね35%の間伐を実施 ・ 必要に応じ林内整理 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林現況調査 間伐 事業実施に必要な歩道整備
A県	321 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数率で概ね30%の間伐を実施 ・ 間伐木については、対象区域内集積 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林現況調査 間伐 事業実施に必要な歩道整備
B県	794 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数率50%以上の間伐実施のうえ区域内全数集積 ・ 間伐の実施に必要な作業路の開設 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林現況調査 間伐 事業実施に必要な作業路整備

(2) 獣害対策

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県	432 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1haあたり600本以上の獣害対策資材の設置 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 獣害対策資材(ネット)の設置経費
C県	43 (千円/ha)	【整備内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村の独自性と創意工夫による獣害対策 ・ 市町村で準備した防除資材を森林所有者が設置する 【事業対象経費】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 防除資材(剥皮被害防止用テープ、防止帯)購入に対する経費

3 進ちょく度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進ちょく度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
国庫補助活用事業	2,280	452,000	2,309	400,018	101.3	88.5
森づくり県民税単独事業	347	55,000	354	53,671	102.0	97.6
事業推進費		46,000		45,065		98.0
獣害対策	357	154,440	357	154,224	100.0	99.9

平成21年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市西大芦1	H21.9.30 ~ H22.1.29	スギ・ヒノキ	28~60	20~35	57.56	9,314	162	
2	鹿沼市西大芦2	H21.10.19 ~ H22.2.10	スギ・ヒノキ	34~60	20~25	40.23	6,290	156	
3	鹿沼市西大芦3	H21.12.28 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	21~60	20~35	47.42	6,495	137	
4	鹿沼市加蘇1	H21.9.7 ~ H21.12.18	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	39.90	7,865	197	
5	鹿沼市加蘇2	H21.10.30 ~ H22.2.26	スギ・ヒノキ	16~59	25~35	36.92	6,636	180	
6	鹿沼市加蘇3	H21.12.3 ~ H22.2.26	スギ・ヒノキ	16~55	25~35	33.51	4,851	145	
7	鹿沼市東大芦	H21.12.28 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	76.25	9,033	118	
8	鹿沼市南摩	H21.12.28 ~ H22.3.10	スギ・ヒノキ	16~60	20~30	20.15	2,594	129	
9	鹿沼市入粟野1	H21.9.9 ~ H21.12.10	スギ・ヒノキ	16~45	20~35	33.60	5,817	173	
10	鹿沼市入粟野2	H22.1.6 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	20~58	20~35	59.86	11,784	197	
11	鹿沼市永野1	H21.12.2 ~ H22.1.29	スギ・ヒノキ	19~58	20~30	17.32	3,071	177	
12	鹿沼市永野2	H22.1.6 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	16~60	20~30	68.54	11,792	172	
13	鹿沼市粕尾	H21.12.2 ~ H22.1.29	スギ・ヒノキ	25~55	20~35	21.53	4,190	195	
14	鹿沼市加蘇4	H22.2.18 ~ H22.3.10					1,328		標準地調査
15	鹿沼市永野3	H22.2.22 ~ H22.3.10					743		標準地調査
小計						552.79	91,803	166	
【日光市】									
1	日光市足尾1	H21.9.8 ~ H21.11.30	スギ・ヒノキ	23~58	20~35	20.89	3,171	152	
2	日光市栗山2	H21.10.8 ~ H22.1.20	スギ・ヒノキ	29~55	20~35	48.63	5,959	123	
3	日光市小来川1	H21.10.7 ~ H22.1.20	スギ・ヒノキ	16~57	20~35	36.58	4,788	131	
4	日光市日光豊岡1外	H21.10.26 ~ H22.1.29	スギ・ヒノキ	17~54	20~35	33.38	4,862	146	【抽出箇所】
5	日光市栗山1	H21.11.6 ~ H22.3.5	スギ・ヒノキ	16~60	20~35	50.07	7,308	146	
6	日光市小来川2	H21.11.20 ~ H22.3.5	スギ・ヒノキ	16~59	20~35	41.63	5,691	137	
7	日光市所野1	H21.12.4 ~ H22.3.15	スギ・ヒノキ	18~59	20~35	59.62	8,165	137	
8	日光市小来川3	H21.12.18 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	17~59	20~35	57.94	6,237	108	
9	日光市山久保1	H21.12.28 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	21~58	20~35	28.22	3,071	109	
10	日光市所野小来川1	H21.12.28 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	23~59	20~35	33.55	3,697	110	
11	日光市栗山3	H22.2.22 ~ H22.3.10					935		標準地調査
12	日光市大沢1	H22.2.22 ~ H22.3.10					751		標準地調査
小計						410.51	54,635	133	

平成21年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【西方町】									
1	西方町真名子	H22.1.6 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	20~59	20~35	85.36	14,813	174	
2	西方町真名子2	H22.2.22 ~ H22.3.10					1,134		標準地調査
小計						85.36	15,947	187	
【宇都宮市】									
1	宇都宮市長峰外	H21.12.17 ~ H22.3.10	スギ・ヒノキ	16~60	20~36	34.72	4,951	143	
【益子町】									
1	益子町上大羽	H21.12.15 ~ H22.2.25	スギ・ヒノキ	21~28	30~35	18.08	3,938	218	
【茂木町】									
1	茂木町吹田谷外	H21.7.29 ~ H22.1.12	スギ・ヒノキ	16~60	22~34	67.86	10,057	148	【抽出箇所】
2	茂木町鮎田外	H21.9.2 ~ H21.11.30	スギ・ヒノキ	22~56	22~33	22.64	4,458	197	
小計						90.50	14,515	160	
【市貝町】									
1	市貝町小貝	H21.9.2 ~ H21.10.20	スギ・ヒノキ	21~33	28~35	3.73	846	227	
【大田原市】									
1	大田原市須賀川1	H21.9.28 ~ H22.1.29	スギ・ヒノキ	16~56	30~35	63.49	12,894	203	
2	大田原市須賀川2	H21.10.16 ~ H22.2.15	スギ・ヒノキ	16~51	30~35	53.19	10,584	199	
3	大田原市須賀川3	H22.1.8 ~ H22.3.26	スギ・ヒノキ	16~49	27~35	61.48	10,374	169	
4	大田原市黒羽1	H21.12.14 ~ H22.3.15	スギ・ヒノキ	16~56	27~36	74.13	11,056	149	【抽出箇所】
5	大田原市黒羽2						431		標準地調査
小計						252.29	45,339	180	
【那須塩原市】									
1	那須塩原市高林1	H21.11.2 ~ H22.1.15	スギ・ヒノキ	17~60	30~36	30.99	4,515	146	
2	那須塩原市高林2	H21.12.28 ~ H22.3.26	スギ・ヒノキ	16~59	30~36	39.62	7,402	187	
3	那須塩原市箒根1	H21.11.10 ~ H22.2.26	スギ・ヒノキ	18~60	35	43.49	9,072	209	
4	那須塩原市箒根2	H21.12.7 ~ H22.3.12	スギ・ヒノキ	16~60	35	14.68	3,123	213	
小計						128.78	24,112	187	

平成21年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【那須烏山市】									
1	那須烏山市大木須1	H21.10.30 ~ H22.2.15	スギ・ヒノキ	18~58	30~35	24.28	4,893	202	
2	那須烏山市那須烏山1	H21.12.28 ~ H22.3.15	スギ・ヒノキ	16~58	27~35	25.85	4,126	160	
3	那須烏山市那珂川烏山						101		標準地調査
小計						50.13	9,120	182	
【那須町】									
1	那須町伊王野1	H21.8.17 ~ H21.12.11	スギ・ヒノキ	16~58	31~35	66.48	11,957	180	
2	那須町伊王野2	H22.1.8 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	17~59	35~36	63.21	14,114	223	
3	那須町芦野1	H21.9.28 ~ H22.1.29	スギ・ヒノキ	16~59	35	59.01	14,332	243	
4	那須町芦野2						630		標準地調査
小計						188.70	41,033	217	
【那珂川町】									
1	那珂川町那珂川1	H22.1.12 ~ H22.3.30	スギ・ヒノキ	16~60	27~35	34.35	6,004	175	
2	那珂川町那珂川烏山						288		標準地調査
小計						34.35	6,292	183	
【足利市】									
1	足利市名草1	H21.9.7 ~ H21.11.30	スギ・ヒノキ	23~58	30~35	51.04	7,770	152	
2	足利市弁天沢	H21.10.13 ~ H21.11.30	スギ・ヒノキ	24~32	35	6.40	1,018	159	
3	足利市松田	H21.12.25 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	30~60	23~35	66.43	11,104	167	
小計						123.87	19,892	161	
【佐野市】									
1	佐野市小戸外	H21.10.6 ~ H21.12.18	スギ・ヒノキ	20~56	28~35	44.77	7,175	160	【抽出箇所】
2	佐野市細尾沢	H21.12.8 ~ H21.2.26	スギ・ヒノキ	24~60	28~35	37.18	6,804	183	
3	佐野市番山	H21.12.25 ~ H22.3.19	スギ・ヒノキ	16~58	26~35	68.91	13,191	191	
4	佐野市深堀沢	H21.12.25 ~ H22.2.26	スギ・ヒノキ	26~58	26~35	32.44	5,551	171	
小計						183.30	32,721	179	
【矢板市】									
1	矢板市泉	H22.1.20 ~ H22.2.19	スギ・ヒノキ	16~49	35	30.95	7,381	238	
【さくら市】									
1	さくら市 高根沢町しおのや東	H22.1.29 ~ H22.2.26	スギ・ヒノキ	20~60	35	18.11	3,360	186	

平成21年度奥山林整備事業一覧【国庫補助活用事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【塩谷町】									
1	塩谷町後久保	H21.10.5 ~ H21.11.13	スギ・ヒノキ	41~45	35	23.01	5,775	251	
2	塩谷町塩谷1	H21.11.9 ~ H21.12.22	スギ・ヒノキ	18~60	35	21.85	4,609	211	
3	塩谷町塩谷2	H22.2.8 ~ H22.3.5	スギ・ヒノキ	39~55	35	22.91	5,107	223	
4	塩谷町塩谷3	H22.2.12 ~ H22.3.12	スギ・ヒノキ	29~56	35	16.52	2,830	171	
5	塩谷町塩谷4	H22.3.1 ~ H22.3.25	スギ・ヒノキ	29~59	35	18.42	4,536	246	
	小計					102.71	22,857	223	
【その他】									
1	事務費						1,276		職員旅費、消耗品費
県合計(a)						2,308.88	400,018	173	
事業計画(b)						2,280.00	452,000	198	
進捗度(a)/(b) %						101%	88%		

平成21年度奥山林整備事業一覧【森づくり県民税単独事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【鹿沼市】									
1	鹿沼市草久	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	37 ~ 59	20 ~ 35	25.87	3,878	150	
2	鹿沼市上粕尾	H21.11.9 ~ H.22.1.29	ヒノキ	36 ~ 50	30	7.38	2,715	368	搬出間伐
小計						33.25	6,593	198	
【日光市】									
1	日光市上栗山	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ	38 ~ 60	35	21.31	3,308	155	
2	日光市宮小来川	H21.10.28 ~ .22.3.25	スギ・ヒノキ	42 ~ 55	20	22.72	1,968	87	
3	日光市小百	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	37 ~ 50	20	5.49	513	93	
小計						49.52	5,789	117	
【西方町】									
西方町真名子		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	39 ~ 59	20 ~ 35	26.06	3,399	130	
【宇都宮市】									
1	宇都宮市福岡町	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	36 ~ 58	20	6.27	570	91	
2	宇都宮市冬室町	H21.12.17 ~ H.22.3.10	ヒノキ	46	23	1.10	152	138	搬出間伐
小計						7.37	722	98	
【益子町】									
益子町下大羽		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	43 ~ 58	20 ~ 35	2.23	283	127	
【茂木町】									
1	茂木町烏生田	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	36 ~ 58	20 ~ 35	16.75	1,944	116	
2	茂木町馬門	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	37 ~ 59	20 ~ 35	9.54	1,350	142	
小計						26.29	3,294	125	
【市貝町】									
1	市貝町狩生田	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	42 ~ 60	35	5.02	745	148	
2	市貝町竹内	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ	48 ~ 54	35	1.30	196	151	
小計						6.32	941	149	
【那須烏山市】									
那須烏山市大木須		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	36 ~ 58	20 ~ 35	38.06	6,209	163	
【那須町】									
那須町梓		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	36 ~ 58	35	50.11	8,269	165	

平成21年度奥山林整備事業一覧【森づくり県民税単独事業】

No.	所在地	事業期間	樹種	林齢 (年生)	間伐率 (%)	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円) B/A	特記事項
【那珂川町】									
1	那珂川町大山田下郷	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	38 ~ 58	20 ~ 35	27.05	3,365	124	
2	那珂川町大内	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	38 ~ 60	20 ~ 35	9.67	1,084	112	
3	那珂川町小砂	H21.11.1 ~ H.21.12.11	ヒノキ	36 ~ 38	35	1.70	672	395	搬出間伐
小計						38.42	5,121	133	
【足利市】									
1	足利市松田町	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	43 ~ 57	35	16.16	2,483	154	
2	足利市名草上町	H21.12.8 ~ H.22.1.29	ヒノキ	49	28	1.20	567	473	搬出間伐
小計						17.36	3,050	176	
【栃木市】									
栃木市出流町		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	39 ~ 60	35	25.08	4,234	169	
【佐野市】									
佐野市秋山町		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	42 ~ 59	35	7.42	1,163	157	
【矢板市】									
矢板市長井		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	40 ~ 56	35	6.60	1,055	160	
【さくら市】									
さくら市喜連川		H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	40 ~ 60	35	8.14	1,273	156	
【塩谷町】									
1	塩谷町玉生	H21.10.28 ~ H.22.3.25	スギ・ヒノキ	46 ~ 60	20 ~ 35	10.65	1,524	143	【抽出箇所】
2	塩谷町船生	H21.11.24 ~ H.21.12.15	ヒノキ	43 ~ 49	35	1.25	752	602	搬出間伐
小計						11.90	2,276	191	
県合計 (a)						354.13	53,671	152	
事業計画 (b)						347.50	55,000	158	
進捗度 (a) / (b) %						102%	98%		

奥山林整備事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	日光市 日光・豊岡1外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	17～54年生
事業概要	事業内容	間伐 33.38ha	事業の 必要性	当計画地は、水源かん養保安林等で公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、条件等の悪い奥地であるため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 20～35%			
	事業費	4,861,500円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○植生調査(H21/7月撮影) 		
					
		【モニタリング調査】 ○植生調査(H22/7月撮影) 			
冬期に間伐を実施し林内に陽光が差し込むようになったが、間伐実施直後ということもあり、下草などの生長はほとんど見られない状況である。					

奥山林整備事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	茂木町 吹田谷外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～60年生
事業概要	事業内容	間伐 67.86ha	事業の 必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草などの植生が衰退している状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 22～34%			
	事業費	10,056,900円			
事業の 実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○植生調査(H21/7月撮影) 		
					
【事業完了後】					
		【モニタリング調査】 ○植生調査(H22/8月撮影)  平成21年度夏期から間伐を実施した結果、林内に陽光が差し込むようになり、下草などの植生の回復が見られる状況である。			

奥山林整備事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	大田原市 黒羽1	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	16～56年生
事業概要	事業内容	間伐 74.13ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草のない状況である。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 27～35%			
	事業費	10,048,500円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○植生調査 (H21/7月撮影) 		
					
		【モニタリング調査】 ○植生調査 (H22/7月撮影) 			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 冬期に間伐が実施され、林内へ陽光が差し込むようになってからまだ短い期間ではあるが、下草などの植生が若干回復してきている状況である。 </div>					

奥山林整備事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	佐野市 小戸外	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	20～56年生
事業概要	事業内容	間伐 44.77ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草などの植生が衰退している状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 28～35%			
	事業費	7,174,650円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○植生調査(H21/9月撮影) 		
					
【事業完了後】					
		【モニタリング調査】 ○植生調査(H22/8月撮影) 			
平成21年度秋期に間伐を実施した結果、林内に陽光が差し込むようになり、下草などの植生が若干回復してきている状況である。					

奥山林整備事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業		事業主体	栃木県	
箇所所在地	塩谷町 玉生	樹種	スギ・ヒノキ	林齢	46～60年生
事業概要	事業内容	間伐 10.65ha	事業の必要性	当計画地は、水源かん養保安林に指定され、公益的機能の発揮が高く求められる森林として位置づけられているが、木材価格の低迷等のため、15年以上手入れが行われていない。現在は林内にほとんど陽光が差し込まず、下草などの植生が衰退している状況にある。 このため、降雨時の土砂流出等が懸念されることから、緊急に間伐を実施し、下草などの植生を回復させる必要がある。	
		間伐率 20～35%			
	事業費	1,524,000円			
事業の実施状況	【事業着手前】				
			【モニタリング調査】 ○植生調査 (H21/8月撮影)		
【事業完了後】 		【モニタリング調査】 ○植生調査 (H22/7月撮影)			
		平成21年度秋期から間伐を実施した結果、林内に陽光が差し込むようになり、下草などの植生が若干回復してきている状況である。			

平成21年度とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 市町別獣害対策実施一覧

所管事務所		市町名	対策実施箇所数	実施面積計(ha)	本数被害率	実施地区	地区内実施箇所数	事業主体	実施面積(ha)	備考
県西環境森林事務所	1	日光市	427	238.92	5~42%	小来川・七里・滝ヶ原(旧日光市)	88	日光地区森林組合	93.27	
						小百(旧今市市)	24	日光地区森林組合	26.74	
						土呂部・日蔭・日向・上栗山・湯西川(旧栗山村)	315	栗山森林組合	118.91	【抽出箇所】
	2	鹿沼市	34	21.08	10~20%	加蘇(旧鹿沼市)	12	鹿沼市森林組合	10.32	
						粟野(旧粟野町)	22	粟野森林組合	10.76	
		小計	461	260.00			461		260.00	
県北環境森林事務所	4	那須塩原市	14	10.00	6~18%	高林(旧黒磯市)	1	那須塩原市森林組合	2.00	
						金沢(旧塩原町)	13	たかはら森林組合	8.00	【抽出箇所】
		小計	14	10.00			14		10.00	
県南環境森林事務所	3	佐野市	89	57.00	10%	作原・岩崎・御神楽(旧田沼町)	71	みかも森林組合	47.78	
						仙波(旧葛生町)	18	みかも森林組合	9.22	【抽出箇所】
			小計	89	57.00			89		57.00
矢板森林管理事務所	5	矢板市	8	7.27	6~9%	塩田	8	たかはら森林組合	7.27	
						船生	15	たかはら森林組合	17.73	
	6	塩谷町	21	22.73	6~50%	玉生	6	高原林産企業組合	5.00	【抽出箇所】
		小計	29	30.00			29		30.00	
合計			593	357.00	5~50%		593		357.00	

事業主体別獣害対策実施面積

	事業主体名	獣害対策実施面積(ha)	交付金交付額(千円)
1	日光地区森林組合	120.01	51,844
2	栗山森林組合	118.91	51,369
3	鹿沼市森林組合	10.32	4,458
4	粟野森林組合	10.76	4,648
5	みかも森林組合	57.00	24,624
6	那須塩原市森林組合	2.00	864
7	たかはら森林組合	33.00	14,256
8	高原林産企業組合	5.00	2,160
	計	357.00	154,224

奥山林整備事業（獣害対策）評価調書【抽出箇所①】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 (獣害対策)		事業主体	栗山森林組合	
箇所所在地	日光市 日向	樹種	スギ	加害獣	クマ
				被害率	6%
事業概要	事業内容	獣害対策	事業の 必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の日光市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、必要な樹木1本毎に獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	0.84ha			
	事業費	362,880円			
事業の実施状況	【獣害被害発生状況】 				
	【獣害対策完了後】 				

奥山林整備事業（獣害対策）評価調書【抽出箇所②】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 (獣害対策)		事業主体	たかはら森林組合	
箇所所在地	那須塩原市 金沢	樹種	スギ	加害獣	クマ
				被害率	6%
事業概要	事業内容	獣害対策	事業の 必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の那須塩原市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、必要な樹木1本毎に獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	1.06ha			
	事業費	457,920円			
事業の 実施状況	【獣害被害発生状況】				
					
	【獣害対策完了後】				
					

奥山林整備事業（獣害対策）評価調書【抽出箇所③】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 (獣害対策)		事業主体	みかも森林組合	
箇所所在地	佐野市 仙波	樹種	スギ	加害獣	クマ
				被害率	10%
事業概要	事業内容	獣害対策	事業の 必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象市の佐野市の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、必要な樹木1本毎に獣害対策を実施する必要がある。	
	実施面積	1.09ha			
	事業費	470,880円			
事業の実施状況	<p>【獣害被害発生状況】</p>  <p style="text-align: right;">【獣害対策完了後】</p> 				

奥山林整備事業（獣害対策）評価調書【抽出箇所④】

事業名	とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業 (獣害対策)		事業主体	高原林産企業組合	
箇所所在地	塩谷町 玉生	樹種	ヒノキ	加害獣	クマ
				被害率	10%
事業概要	事業内容	獣害対策		事業の 必要性	栃木県ツキノワグマ保護管理計画対象町の塩谷町の森林において、クマによる剥皮被害の発生により樹木が枯死し森林の公益的機能が低下していることから、被害の拡大を防ぎ森林の公益的機能を維持するため、必要な樹木1本毎に獣害対策を実施する必要がある。
	実施面積	0.50ha			
	事業費	216,000円			
事業の 実施状況	【獣害被害発生状】				
					
	【獣害対策完了後】				
					

2. 明るく安全な里山林整備事業

1 有効性

(1) 将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所49・整備面積241.11ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 245人	
1 里山林整備によって、周辺の風景と調和し美しい景観になったと思いますか。	「非常に美しい景観になった」46%、 「ある程度美しい景観になった」46%、「あまり変わらない」5%、 「整備しない方が良かった」1%、「わからない」2%
2 里山林整備によって、自然観察や散策、里山の手入れなどがしやすくなったと思いますか。	「非常にしやすくなった」44%、「ある程度しやすくなった」46%、 「あまり変わらない」6%、「しづらなくなった」0%、「わからない」4%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」44%、「ある程度思う」43%、 「ほとんど思わない」3%、「全く思わない」0%、「わからない」10%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」57%、「良かった」35%、「どちらでもない」3%、 「良くなかった」1%、「わからない」4%

(2) 通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	学校・保護者・事業実施地自治会、全事業箇所(整備箇所43・整備面積89.70ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 84人	
1 里山林整備によって、児童・生徒などの通学時の安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」40%、「ある程度向上した」53%、 「あまり向上しなかった」2%、「全く向上しなかった」0%、 「わからない」5%
2 里山林整備によって、住宅地周辺で生活する上で安全・安心が向上したと思いますか。	「非常に向上した」34%、「ある程度向上した」60%、 「あまり向上しなかった」4%、「全く向上しなかった」0%、 「わからない」2%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」29%、「ある程度思う」57%、 「ほとんど思わない」7%、「全く思わない」0%、「わからない」7%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」43%、「良かった」49%、「どちらでもない」6%、 「良くなかった」0%、「わからない」2%

(3) 野生獣被害軽減のための里山林整備 : アンケート調査

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施地の農地耕作者・自治会、全事業箇所(整備箇所50・整備面積369.51ha)
【実施時期】	事業実施年度内
【調査結果】 アンケート対象 318人	
1 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣の田畑、住宅地への出没が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」20%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」62%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」10%、 「まったく減らない(減りそうにない)」4%、「わからない」4%
2 里山林整備によって、イノシシなどの野生獣による農業被害が減った(減る)と思いますか。	「非常に減った(減りそうだ)と思う」18%、 「少し減った(減りそうだ)と思う」59%、 「あまり減っていない(減りそうにない)」12%、 「まったく減らない(減りそうにない)」3%、「わからない」8%
3 今後、この里山林を地域全体で保全していこうと思いますか。	「非常にそう思う」30%、「ある程度思う」59%、 「ほとんど思わない」5%、「全く思わない」1%、「わからない」5%
4 とちぎの元気な森づくり県民税を使って里山林が整備されて良かったと思いますか。	「とても良かった」39%、「良かった」49%、「どちらでもない」7%、 「良くなかった」1%、「わからない」4%

2 効率性

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	効率性 (千円/ha) D/C
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	228	185,000 (191,155)	241.11	136,850 (142,620)	568
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	91	16,075 (21,000)	89.70	15,721 (19,967)	175
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	345	59,305 (74,000)	369.51	61,417 (75,345)	166
里山林整備事業費合計 (a + b + c)	664	260,380 (286,155)	700.32	213,988 (237,932)	306

()書き数字は管理費を含む全体の事業費

[効率性に関する比較検討] 対象経費が大きく異なるため、(a)と(b)(c)を分けて比較

比較県	効率性	特 記 事 項
栃木県 (a)	568 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ 不要木の除去 やぶの刈り払い 樹木の植栽 歩道の整備 案内標識整備 【実施主体】 ・ 市町村
A県	768 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ 枯損木の除去 除間伐 やぶの刈り払い 樹木の植栽 利用施設設置 【実施主体】 ・ 市町村
栃木県 (b)(c)	168 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ 不要木の除去 やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ 市町村
B県	304 (千円/ha)	【事業対象経費】 ・ 除伐 やぶの刈り払い 【実施主体】 ・ 市町村

3 進ちょく度

区 分	整備計画 面積(ha) A	予算額 (千円) B	整備実績 面積(ha) C	決算額 (千円) D	進ちょく度 (%) C/A	予算執行率 (%) D/B
将来まで守り育てるとちぎの里山林整備 (a)	228	185,000 (191,155)	241.11	136,850 (142,620)	105.8	74.0
通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備 (b)	91	16,075 (21,000)	89.70	15,721 (19,967)	98.6	97.8
野生獣被害軽減のための里山林整備 (c)	345	59,305 (74,000)	369.51	61,417 (75,345)	107.1	103.6
里山林整備事業費合計 (a + b + c)	664	260,380 (286,155)	700.32	213,988 (237,932)	105.5	82.2

()書き数字は管理費を含む全体の事業費

平成21年度里山林整備事業一覧

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
1	鹿沼市花岡町	H21.10.20 ~ H22.3.25	将来まで 守り育てる	不要木の除去・やぶの刈 払い等	鹿沼市	3.03	3,003	991	
2	鹿沼市茂呂	H21.8.3 ~ H22.3.10	"	不要木の除去・やぶの刈 払い等	鹿沼市	1.50	1,395	930	
3	日光市板橋	H21.10.8 ~ H21.12.15	"	やぶの刈払い・不要木除 去・標識・ベンチ・歩道	日光市	4.50	2,389	531	
4	日光市大室	H22.2.9 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木除 去・標識・ベンチ・歩道	日光市	6.00	2,411	402	
5	宇都宮市福岡町	H21.9.25 ~ H22.3.12	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	宇都宮市森林保全 クラブ	2.00	360	180	
6	宇都宮市戸祭町	H21.12.28 ~ H22.2.22	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	宇都宮市	1.34	228	170	
7	宇都宮市柳田町	H21.6.24 ~ H22.1.20	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	宇都宮市	2.90	1,877	647	
8	宇都宮市篠井町	H21.11.1 ~ H22.2.12	"	やぶの刈払い・不要木の 除去・歩道	宇都宮市	21.70	6,000	276	
9	真岡市長田	H21.12.20 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の 除去・歩道・標識設置	真岡市	7.50	2,880	384	【抽出箇所】
10	真岡市東大島	H21.12.25 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	真岡市	6.50	2,720	418	
11	上三川町上神主	H22.1.20 ~ H22.3.15	"	下草刈り・不要木の除去	上三川町	7.24	2,226	307	
12	益子町本沼	H22.1.29 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	益子町	6.75	1,609	238	
13	益子町前沢	H21.11.19 ~ H21.12.28	"	やぶの刈払い	益子町	2.60	454	175	
14	益子町芦沼	H22.1.29 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	益子町	6.05	1,440	238	
15	茂木町小貫	H21.7.26 ~ H21.11.15	"	やぶの刈払い・植栽等	小貫焼森の里協 議会	3.00	570	190	
16	茂木町黒田	H22.2.2 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・植栽等	黒田地区コミュニ ティ 推進協議会	3.00	1,380	460	
17	茂木町小井戸	H22.2.1 ~ H22.3.23	"	歩道整備・間伐等	城山を考える会	10.00	3,850	385	
18	茂木町林	H21.12.1 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・間伐等	林協議会	4.00	3,600	900	
19	市貝町塙	H21.10.14 ~ H21.12.24	"	不要木の除去	市貝町	5.10	5,100	1,000	
20	芳賀町稲毛田	H21.11.26 ~ H21.12.1	"	除伐	芳賀町	6.00	305	51	

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
21	芳賀町東高橋	H21.12.10 ~ H22.3.15	将来まで 守り育てる	下草・笹・やぶの刈払い、倒木・不要木の除去	芳賀町	7.00	1,140	163	
22	芳賀町芳志戸	H21.12.1 ~ H22.3.15	"	下草・笹・やぶの刈払い、倒木・不要木の除去	芳賀町	13.90	1,931	139	
23	大田原市北滝	H21.8.21 ~ H22.3.18	"	間伐、植栽、下草、進入路・遊歩道整備	大田原市	9.44	9,440	1,000	
24	大田原市堀之内	H21.10.26 ~ H22.2.25	"	間伐・植栽・残材処分	大田原市	2.26	2,260	1,000	
25	那須塩原市鍋掛	H22.2.22 ~ H22.3.25	"	やぶの刈払い・間伐・植栽・遊歩道・標識等整備	那須塩原市	4.88	4,620	947	
26	那須烏山市南	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須烏山市	3.50	2,520	720	
27	那須烏山市藤田	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須烏山市	6.00	4,320	720	
28	那須烏山市江川	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須烏山市	3.00	2,160	720	
29	那須町伊王野	H22.2.20 ~ H22.3.25	"	やぶの刈払い・不要木の除去・防護柵設置	那須町	3.50	2,186	625	
30	那須町芦野	H22.2.19 ~ H22.3.25	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須町	1.50	1,314	876	
31	那珂川町馬頭	H22.1.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去・標識等整備	那珂川町	5.60	2,965	529	
32	那珂川町小口	H22.1.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去・標識等整備	那珂川町	1.20	910	758	
33	那珂川町久那瀬	H22.1.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去・標識等整備	那珂川町	3.50	1,925	550	
34	足利市名草中町	H21.11.2 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	足利市	2.50	2,500	1,000	
35	足利市寺岡町	H22.3.1 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	足利市	5.00	4,979	996	
36	栃木市皆川城内町	H21.7.3 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	栃木市	10.10	10,000	990	
37	栃木市鍋山町	H22.2.1 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	栃木市	3.50	2,257	645	
38	佐野市堀米町1	H21.12.8 ~ H22.3.12	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	佐野市	3.10	3,099	1,000	
39	佐野市堀米町2	H22.2.4 ~ H22.3.25	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	佐野市	3.00	2,969	990	【抽出箇所】
40	佐野市奈良淵町	H22.1.12 ~ H22.3.23	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備等	佐野市	8.00	3,044	381	

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
41	下野市国分寺	H21.12.4 ~ H22.3.29	将来まで 守り育てる	やぶの刈払い・歩道整備・標識設置	下野市	1.60	1,428	893	
42	野木町南赤塚	H21.1.12 ~ H21.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備	野木町	4.34	4,340	1,000	
43	大平町下皆川 (栃木市)	H22.2.8 ~ H22.3.4	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備	大平町(栃木市)	1.50	2,696	793	
44	大平町西山田 (栃木市)					1.90			
45	岩舟町大字静	H21.12.21 ~ H22.3.12	"	やぶの刈払い・不要木の除去	岩舟町	5.00	2,979	596	
46	矢板市東泉	H21.9.10 ~ H22.2.26	"	やぶ・不要木・植栽・歩道・ベンチ等	矢板市	5.87	5,378	916	
47	さくら市上阿久津	H22.2.4 ~ H22.3.25	"	下刈り・枝払い・歩道整備	さくら市	2.80	2,793	998	
48	塩谷町大宮	H21.10.29 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道・標識等	塩谷町	4.90	4,900	1,000	
49	高根沢町鷺野谷	H22.2.8 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道・標識整備	高根沢町	2.01	2,000	995	
50	鹿沼市加園	H21.7.17 ~ H22.2.2	通学路等の安全・安心確保	不要木の除去・やぶの刈払い	加蘇コミュニティ推進協議会	1.13	203	180	
51	鹿沼市見野	H21.9.17 ~ H21.11.30	"	不要木の除去・やぶの刈払い	見野自治会	1.08	194	180	
52	鹿沼市草久	H21.9.17 ~ H21.10.30	"	不要木の除去・やぶの刈払い	西大芦6区自治会	1.26	227	180	
53	鹿沼市板荷1	H22.1.5 ~ H22.1.22	"	不要木の除去・やぶの刈払い	板荷3区自治会	0.59	106	180	
54	鹿沼市板荷2	H21.12.4 ~ H22.1.22	"	不要木の除去・やぶの刈払い	サンデーフォレストクラブ	1.70	306	180	
55	鹿沼市白桑田	H21.9.17 ~ H21.12.1	"	不要木の除去・やぶの刈払い	白桑田自治会	0.92	166	180	
56	日光市大室	H22.2.15 ~ H22.3.9	"	やぶの刈払い・不要木の除去	日光市	1.70	306	180	
57	日光市原宿	H22.2.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去	日光市	5.00	900	180	【抽出箇所】
58	日光市日向	H22.2.1 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去	日光市	2.40	432	180	
59	日光市小代	H22.2.19 ~ H22.3.20	"	やぶの刈払い・不要木の除去	日光市	1.50	270	180	
60	宇都宮市篠井町	H22.1.12 ~ H22.2.26	"	やぶの刈払い	篠井地区ゆたかなまちづくり協議会	0.30	54	180	

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
61	上三川町下神主	H22.2.12 ~ H22.3.15	通学路等の安全・安心確保	下草刈り、不要木の除去	上三川町	2.08	357	172	
62	茂木町牧野・入郷	H22.2.2 ~ H22.3.18	"	やぶの刈払い	茂木町	3.00	525	175	
63	市貝町文谷	H21.10.14 ~ H21.11.12	"	やぶの刈払い	市貝町	0.60	108	180	
64	大田原市大久保・中野内	H21.8.21 ~ H21.9.30	"	やぶの刈払い・間伐・枝払い	大田原市	3.00	540	180	
65	那須塩原市鍋掛	H21.11.24 ~ H21.12.25	"	除伐・刈払い	那須塩原市	1.12	199	178	
66	那須烏山市月次	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須烏山市	2.00	360	180	
67	那須烏山市滝田	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須烏山市	0.75	135	180	
68	那須烏山市高瀬	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那須烏山市	2.25	405	180	
69	那珂川町薬利	H22.1.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去	那珂川町	4.00	704	176	
70	足利市西宮町	H22.3.1 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の除去	足利市	21.00	3,702	176	
71	小山市南半田	H21.6.17 ~ H21.7.22	"	下刈り・枝落とし	小山市	1.30	234	180	
72	小山市東野田	H22.1.26 ~ H22.3.25	"	下刈り・枝落とし	小山市	1.70	306	180	
73	下野市上台・細谷	H22.2.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の除去	下野市	0.18	32	178	
74	壬生町上稲葉	H22.2.16 ~ H22.3.12	"	やぶの刈払い・不要木の除去	壬生町	1.70	305	179	
75	野木町若林	H22.1.5 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い	野木町	7.57	1,363	180	
76	大平町西山田 (栃木市)	H22.2.8 ~ H22.3.4	"	やぶの刈払い・不要木の除去・歩道整備	大平町(栃木市)	1.30	234	180	
77	藤岡町大字大田和 (栃木市)	H22.3.17 ~ H22.3.26	"	やぶの刈払い・不要木の除去	藤岡町(栃木市)	0.50	90	180	
78	岩舟町大字静	H22.2.3 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去	岩舟町	0.36	64	178	
79	都賀町深沢 (栃木市)	H22.1.27 ~ H22.2.26	"	やぶの刈払い・不要木の除去	都賀町(栃木市)	1.35	215	159	
80	矢板市上伊佐野1	H22.2.10 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	8.55	1,365	160	【抽出箇所】

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
81	矢板市上伊佐野2	H22.2.8 ~ H22.3.15	通学路等の安全・安心確保	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	0.15	25	167	
82	矢板市下伊佐野	H22.2.8 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	1.65	277	168	
83	矢板市土屋	H22.2.8 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	0.06	10	167	
84	矢板市成田	H22.2.8 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	2.68	453	169	
85	矢板市安沢	H22.2.8 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	0.12	20	167	
86	矢板市木幡	H21.12.15 ~ H21.12.25	"	やぶの刈払い・不要木の除去	矢板市	1.80	299	166	
87	塩谷町熊ノ木	H22.2.23 ~ H22.2.28	"	やぶの刈払い・不要木の除去	塩谷町	0.21	230	170	
88	塩谷町田所					0.10			
89	塩谷町風見山田					0.10			
90	塩谷町上沢					0.10			
91	塩谷町船生1					0.30			
92	塩谷町船生2					0.54			
93	鹿沼市加園1	H21.7.17 ~ H22.2.2	野生獣被害軽減	不要木の除去・やぶの刈払い	加蘇コミュニティ推進協議会	1.21	212	175	
94	鹿沼市加園2	H21.7.17 ~ H22.2.2	"	不要木の除去・やぶの刈払い	加蘇コミュニティ推進協議会	3.91	684	175	
95	鹿沼市加園3	H21.9.25 ~ H22.2.2	"	不要木の除去・やぶの刈払い	加蘇コミュニティ推進協議会	1.12	196	175	
96	鹿沼市草久	H21.9.17 ~ H22.3.31	"	不要木の除去・やぶの刈払い	西大芦8区自治会	4.12	721	175	
97	鹿沼市引田	H21.9.17 ~ H22.1.8	"	不要木の除去・やぶの刈払い	引田自治会	1.64	287	175	
98	鹿沼市板荷1	H21.12.4 ~ H22.3.1	"	不要木の除去・やぶの刈払い	板荷8区自治会	2.20	385	175	
99	鹿沼市板荷2	H21.12.4 ~ H22.1.25	"	不要木の除去・やぶの刈払い	板荷4区自治会	3.90	682	175	
100	鹿沼市板荷3	H21.11.12 ~ H22.1.29	"	不要木の除去・やぶの刈払い	板荷7区自治会	0.64	112	175	

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
101	鹿沼市板荷4	H21.12.21 ~ H22.1.29	野生獣 被害軽減	不要木の除去・やぶの刈 払い	板荷2区自治会	0.99	173	175	
102	鹿沼市板荷5	H22.1.5 ~ H22.2.5	"	不要木の除去・やぶの刈 払い	板荷3区自治会	0.74	129	174	
103	鹿沼市下沢	H22.1.12 ~ H22.3.26	"	不要木の除去・やぶの刈 払い	下沢自治会	9.23	1,615	175	
104	日光市長畑	H22.1.25 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	日光市	9.40	1,645	175	
105	日光市明神	H22.1.25 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	日光市	10.30	1,802	175	
106	日光市岩崎	H22.2.13 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	日光市	15.20	2,660	175	
107	日光市滝ヶ原	H22.1.30 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	日光市	1.70	297	175	
108	日光市中小来川	H22.1.30 ~ H22.3.12	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	日光市	1.10	193	175	
109	日光市和泉	H22.2.19 ~ H22.3.20	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	日光市	2.30	403	175	
110	西方町真名子1	H21.7.21 ~ H21.8.31	"	不要木の除去・やぶの刈 払い	西方町	19.17	7,351	173	
111	西方町真名子2	H21.12.14 ~ H22.1.22				12.80			
112	西方町真名子3	H22.2.17 ~ H22.3.10				5.03			
113	西方町真名子4	H22.3.8 ~ H22.3.15				5.55			
114	宇都宮市冬室	H21.12.24 ~ H22.2.4	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	宇都宮市	1.00	175	175	
115	真岡市南高岡	H22.1.20 ~ H22.2.4	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	真岡市	1.50	262	175	
116	益子町大郷戸	H21.9.29 ~ H21.11.30	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	益子町	10.80	1,861	172	
117	益子町梅ヶ内	H21.9.28 ~ H21.12.28	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	益子町	7.80	1,324	170	
118	益子町小泉	H22.1.29 ~ H22.3.8	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	益子町	2.70	459	170	
119	益子町山本	H22.1.29 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	益子町	9.45	1,604	170	
120	茂木町深沢外	H21.12.14 ~ H22.3.18	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	茂木町	20.40	3,423	168	

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
121	茂木町上神井	H21.10.21 ~ H22.2.28	野生獣 被害軽減	やぶの刈払い・不要木の 除去	上神井里山の会	7.00	1,225	175	
122	茂木町山内	H21.11.28 ~ H21.11.30	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	棚田の里かぶと	1.10	192	175	
123	茂木町深沢	H21.10.15 ~ H21.11.30	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	深沢東部地区協議 会	6.00	1,050	175	
124	茂木町烏生田	H22.2.1 ~ H22.2.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	烏生田の里山を守 る会	3.50	612	175	【抽出箇所】
125	茂木町竹原	H22.1.25 ~ H22.3.14	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	竹原里山の会	2.00	350	175	
126	茂木町九石	H22.1.15 ~ H22.3.14	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	九石里山保存会	3.00	525	175	
127	芳賀町稲毛田	H21.11.1 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・枯れ木・ 倒木・不要木の除去	芳賀町	18.00	2,824	157	
128	大田原市河原	H21.8.21 ~ H22.3.2	"	やぶの刈払い・間伐	大田原市	13.00	2,275	175	【抽出箇所】
129	大田原市雲岩寺	H21.9.7 ~ H21.12.10	"	やぶの刈払い・間伐・枝 払い	大田原市	20.00	3,500	175	
130	大田原市須佐木	H21.9.7 ~ H21.12.21	"	やぶの刈払い・間伐・枝 払い	大田原市	30.00	5,250	175	
131	那須塩原市高林中北	H22.2.16 ~ H22.3.25	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	那須塩原市	4.26	718	169	
132	那須烏山市小木須	H21.12.21 ~ H22.3.19	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	那須烏山市	6.00	1,050	175	
133	那珂川町大山田下郷	H22.1.15 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	那珂川町	5.00	875	175	
134	足利市田島町	H22.3.1 ~ H22.3.29	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	足利市	34.00	5,767	170	
135	足利市大岩町	H21.12.14 ~ H21.12.27	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	足利市	2.10	353	168	
136	栃木市柏倉町	H21.6.30 ~ H22.1.31	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	北柏倉里山愛護会	2.00	347	174	
137	佐野市長谷場町	H21.9.7 ~ H22.2.26	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	佐野市	2.00	350	175	
138	佐野市船越町	H21.21.1 ~ H22.1.31	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	佐野市	7.50	1,072	143	
139	都賀町大柿 (栃木市)	H22.1.27 ~ H22.3.10	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	都賀町(栃木市)	35.40	4,134	117	
140	矢板市平野	H22.2.8 ~ H22.3.15	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	矢板市	0.50	84	168	

	所在地	実施期間	事業目的	主な事業内容	実施主体	整備面積 (ha) A	事業費 (千円) B	効率性 (千円)B/A	特記事項
141	矢板市倉掛	H22.2.8 ~ H22.3.15	野生獣 被害軽減	やぶの刈払い・不要木の 除去	矢板市	0.65	109	168	
142	塩谷町風見山田	H22.2.24 ~ H22.2.26	"	やぶの刈払い・不要木の 除去	塩谷町	0.60	100	167	
県 合 計 (a)						700.32	213,988	306	

事業計画 (b)						664.0	260,380	392	
進捗度 (a) / (b) %						105.5%	82.2%	77.9%	

里山林整備事業評価調書【抽出箇所①】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	真岡市
所在地	真岡市長田		事業の 必要性	当計画地は、都市化が進む真岡市中心部で残されている貴重な里山林である。 このかけがえのない自然を地域住民が将来にわたって気軽に親しめるよう、市民協働で明るく安全な里山林空間に整備していく必要がある。
事業概要	事業内容	やぶの刈り払い、不要木除去、歩道整備等		
	整備面積	7.50ha		
	事業費	2,880,000円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

里山林整備事業評価調書【抽出箇所②】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (将来まで守り育てるとちぎの里山林整備事業)		事業主体	佐野市
所在地	佐野市堀米町		事業の 必要性	事業区域は、「佐野市こどもの国」、「八幡宮」に隣接し、周辺の住民が散策等に利活用しているが、所有者の手入れも行き届かず、やぶ化が進んでいた。 そこで、かつての里山林を取り戻し、自然に親しみながら、安心して利活用できるようにするため、不要木の除去、やぶの刈り払い及び遊歩道の整備が必要である。
事業概要	事業内容	やぶの刈り払い、不要木除去、歩道整備等		
	整備面積	3.00ha		
	事業費	2,969,434円		
事業の実施状況	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>【事業着手前】</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>【事業完了後】</p> </div> </div>			

里山林整備事業評価調書【抽出箇所③】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 <small>(通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備事業)</small>		事業主体	日光市
所在地	日光市原宿			
事業概要	事業内容	やぶの刈り払い、不要木の除去		事業の必要性 住宅地周辺に近接する見通しの悪い里山林を、住民の安全・安心を確保するため、整備する必要がある。
	整備面積	5.00ha		
	事業費	900,000円		
事業の実施状況				
	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="text-align: right;">【事業完了後】</div>  </div>			

里山林整備事業評価調書【抽出箇所④】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (通学路や住宅地周辺の安全・安心を確保するための里山林整備事業)		事業主体	矢板市
所在地	矢板市上伊佐野			
事業概要	事業内容	やぶの刈り払い、不要木の除去	事業の 必要性	スギ、ヒノキ等の植林がなされているが、手入れが行われず、下草や支障木が繁茂し、通学路の周囲の見通しを悪くしているため、やぶの刈り払いや不要木の除去を行い、安全性を確保する必要がある。
	整備面積	8.55ha		
	事業費	1,365,000円		
事業の 実施状況				
	【事業完了後】 			

里山林整備事業評価調書【抽出箇所⑤】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)	事業主体	茂木町
所在地	茂木町烏生田		
事業概要	事業内容	やぶの刈り払い、不要木の除去	事業の 必要性 当計画地は、イノシシによる農作物被害が深刻な農地周辺の里山林である。 イノシシの農地への出没を防止するための緩衝帯として、やぶを刈り払い、明るく安全な里山林空間をつくっていく必要がある。
	整備面積	3.50ha	
	事業費	612,500円	
事業の実施状況			
	【事業完了後】 		

里山林整備事業評価調書【抽出箇所⑥】

事業名	明るく安全な里山林整備事業 (野生獣被害軽減のための里山林整備事業)	事業主体	大田原市
所在地	大田原市河原		
事業概要	事業内容	藪の刈り払い、間伐	
	整備面積	13.00ha	
	事業費	2, 275, 000円	
事業の実施状況			
	【事業着手前】		
			
	【事業完了後】		

3. 元気な森を育む木の良さ普及啓発事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】 木製学習用机・いす配布校 31校の教諭 31名(配布校各1名)	
【実施時期】 平成22年4～5月	
【調査結果】 アンケート対象 31人	
1 今回配布した木製学習用机・いすの材料の「木材」は、栃木県内で何十年も前に植えられた森林の手入れ(間伐)により発生したものです。このことについて、児童・生徒に説明されましたか。	「はい」77%、「いいえ」23%
2 前に使っていたスチール製の机やいすと比べてどうですか。	「木製の方がよい」26%、 「どちらかと言えば木製の方がよい」52%、 「どちらかと言えばスチール製の方がよい」22%、 「スチール製の方がよい」0%、 「どちらでも変わらない」0%
3 木を使うことは、森林を元気にするために大切であることを知っていましたか。	「知っていた」84%、「知らなかった」16%
4 県内の森林を健全に育てるために、今後、栃木県の木を利用したいと思いますか。	「とてもそう思う」68%、「まあまあそう思う」32%、 「そう思わない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、学校にこの机やいすが整備されてよかったと思いますか。	「とてもよかった」48%、「よかった」45%、 「どちらでもない」7%、「よくなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較対照
47,544	2,000	23,772	平成20年度事業実績 (木製学習用机・いす) 25,865円/セット

3 進ちょく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
2,000	2,000	100

4. とちぎ森づくり情報センター事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	「とちぎの森づくり」ホームページの平成22年3月末における登録者 56名(ホームページに情報を掲載できる者)
【実施時期】	平成22年6月
【調査結果】 アンケート対象 38人	
1 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループは活動しやすくなりましたか。	「非常に活動しやすくなった」5%、 「活動しやすくなった」50%、 「どちらでもない」45%、「活動しにくくなった」0%
2 このホームページの利用によってあなたやあなたのグループに役立っていますか。	「大いに役立つ」16%、「ある程度役立つ」66%、 「どちらとも言えない」13%、「役立たない」5%
3 これからも森づくり活動に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」39%、 「これまでと同じように取り組みたい」55%、 「あまり取り組みたくない」3%、「取り組まない」0%、 「わからない」3%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このようなホームページができてよかったと思いますか。	「とても良かった」29%、「良かった」55%、 「どちらでもない」16%、「良くなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	アクセス件数 (件/年) B	1アクセス当たりの事業費 (円/セット) A/B	比 較 対 照
7,890	12,825	615	他県との比較(事業費(A)/アクセス件数(B)) A県: 9,255千円/2,770件 3,341円/アクセス

3 進捗よく度

区 分	計画 (人) A	実績 (人) B	B/A (%)	備 考
「とちぎの森づくり」ホームページの登録者数	100	56	56	H22.3末現在までの登録者数

5. とちぎ「森の楽校(がっこう)」事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	とちぎ「森の楽校」参加者全員 369名(延べ参加者数)
【実施時期】	平成21年6月～平成22年3月
【調査結果】 アンケート対象 256人	
1 講座の内容や体験は、理解できましたか。	「理解できた」64%、「ある程度理解できた」35%、 「理解できなかった」1%、「どちらとも言えない」0%
2 この講座により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」52%、「ある程度理解が深まった」45%、 「あまり理解が深まらなかった」2%、 「これまでとほとんど変わらない」1%
3 この講座は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」57%、「ある程度役立つ」42%、 「あまり役立たない」0%、「役立たない」0%、 「どちらとも言えない」1%
4 今後も森づくり活動や森の大切さの普及活動等に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」48%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」52%、 「あまり取り組みたくない」0%、「取り組みない」0%、 「わからない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税により、この講座が行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」60%、「よかった」37%、 「よくなかった」1%、「どちらでもない」2%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	回数・参加者数 (回・人) B	1回・人当たりの事業費 (千円/回・人) A/B	比較対照	
4,657	16回 369人	291千円/回 13千円/人	A県との比較	6,000千円、13回、のべ477人 461千円/回 13千円/人

3 進捗よく度

計画 (回) A	実績 (回) B	B/A (%)
13講座16回	13講座16回	100

6. 森林環境学習推進事業

1 有効性

(1) 森林環境学習実施・指導者研修

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業実施団体(学校)の担当教諭及び指導者研修参加者 55名
【実施時期】	指導者研修終了時及び平成22年3月
【調査結果】 アンケート対象 44人	
1 この事業により、あなたの団体(学校)は森林環境学習に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取組やすくなった」46%、 「取組やすくなった」44%、 「取組みにくくなった」0%、「どちらとも言えない」10%
2 この取組は、(参加した)子どもたちにとって、役立ちそうですか。	「大いに役立つ」65%、「ある程度役立つ」33%、 「あまり役立たない」2%、「役立たない」0%、 「どちらとも言えない」0%
3 今後も、森林環境学習に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取組みたい」56%、 「これまでと同じ程度に取組みたい」44%、 「あまり取組みたくない」0%、「取組まない」0%、 「わからない」0%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われてよかったと思いますか。	「とても良かった」56%、「良かった」40%、 「どちらでもない」4%、「良くなかった」0%

(2) とちぎ森の子サミット

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	森の子サミット参加者 75名
【実施時期】	森の子サミット終了時
【調査結果】 アンケート対象 72人	
1 今日のイベントに参加した感想はいかがでしたか。	「とても楽しかった」86%、「まあまあ楽しかった」13%、 「どちらでもない」1%、「面白くなかった」0%
2 このイベントに参加して、森林について理解できましたか。	「とても理解できた」64%、「ある程度理解できた」30%、 「あまり理解できなかった」3%、 「これまでと殆ど変わらない」3%
3 このようなイベントに、今後も参加したいと思いますか。	「ぜひ参加したい」80%、「どちらかといえば参加したい」11%、 「あまり参加しないと思う」0%、「参加しない」0%、 「わからない」9%
4 とちぎの元気な森づくり県民税で、このイベントが行われてよかったと思いますか。	「とても良かった」72%、「良かった」27%、 「どちらでもない」1%、「良くなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (円/人) A/B	比較対照
4,462	4,234	1,054	A県との比較 995千円/人

3 進ちょく度

計画 (団体・回) A	実績 (団体・回) B	B/A (%)
23団体・研修1回・サミット1回	23団体・研修1回・サミット1回	100

7. とちぎの元気な森づくり県民会議事業

1 有効性

(1) 児童

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校39校のうち6校の児童 109名(配布数1,000セットの概ね1割) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成22年3～6月	
【調査結果】 アンケート対象 109人	
1 今回までに、木工工作をしたことがありますか。	「今回が初めて」10%、「1～2回ある」53%、「何回もある」37%
2 今回の木工工作はどうでしたか。	「とても楽しかった」80%、「まあまあ楽しかった」18%、「どちらでもない」2%、「楽しくなかった」0%
3 工作の材料である「木」について、どのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」14%、「やわらかい感じ」13%、「色や木目がきれい」35%、「よい香り」37%、「何も感じない」1%
4 ほかに木を使って工作したり、木でできたもの(机やイスなど)を使いたいと思いますか。	「とてもそう思う」65%、「どちらかといえばそう思う」24%、「どちらでもない」7%、「あまり思わない」4%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」66%、「よかった」29%、「どちらでもない」5%、「よくなかった」0%

(2) 教諭

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 工作教材配布校39校すべての学校の教諭 40名(配布校1名以上) 【実施時期】 木工教室体験後及び平成22年3～6月	
【調査結果】 アンケート対象 40人	
1 今回のような木工工作学習の取組について、先生のこれまでの御経験を教えて下さい。	「今回が初めて」57%、「1～2回ある」33%、「何回もある」10%
2 工作の材料である「木」について、先生自身はどのように感じましたか(複数可)。	「あたたかい感じ」33%、「やわらかい感じ」21%、「色や木目がきれい」25%、「よい香り」21%、「何も感じない」0%
3 今回の工作学習を実施して、木の良さや木を使うことの大切さについて、子どもたちの理解は深まったと感じますか。	「非常に深まった」32%、「ある程度深まった」65%、「あまり深まらなかった」3%、「これまでとほとんど変わらない」0%
4 今回のような木工工作学習を、今後も実施したいと思いますか。	「ぜひ実施したい」82%、「どちらかといえば実施したい」15%、「あまり実施しないと思う」3%、「実施しない」0%、「わからない」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、今回の木工工作ができてよかったと思いますか。	「とてもよかった」85%、「よかった」15%、「どちらでもない」0%、「よくなかった」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	配布数量 (セット) B	1セット当たりの事業費 (円/セット) A/B	比較 対 照
1,040	1,000	1,040	平成20年度事業実績 1,040円/セット

3 進ちょく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)	備 考
1,000	1,000	100	配布工作教材1,000セットの内訳: 本立て(357)、時計(158)、ベンチ(105)、鉢入れ(102)、飾り棚(87)、貯金箱(66)、小物入れ(66)、ペンケース(59)

8. とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会事業

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	開催回数 (回) B	1回当たりの事業費 (千円/回) A/B	比較対照
531	4回 (うち現地調査1回)	133	A県との比較 352千円、2回 176千円/回

9. とちぎの元気な森づくり県民広報事業

1 有効性

アンケート調査の概要	平成20年度県政世論調査と同一の質問項目で実施
【対象及び実施数】	県内各種イベント来場者 のべ817名
【実施時期】	県植樹祭(5月23日)、 県民の日イベント(6月6日、7日)、 エコもりフェア(10月10日、11日)
【調査結果】	アンケート対象 817人
1 平成20年4月から本県で導入している『とちぎの元気な森づくり県民税』いわゆる森林環境税について、次の中から1つ選んで番号に をつけてください。	「名称も税額も知っており、かつ税の使い道も知っている」18.4% 「名称も税額も知っており、かつ税の使い道もある程度知っている」15.3% 「名称と税額のみ知っている」9.1% 「名称は知っているが、税額は知らない」27.8% 「名称も税額も知らない」28.0% 「無効回答」1.4%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	納税義務者数 (千人) B	1人当たりの事業費 (円/人) A/B	比較対照
6,963	1,039	6.7	A県との比較 22,678千円、3,722千人 6.1円/人 (全体事業費858,185千円)

3 進ちょく度

計画 (セット) A	実績 (セット) B	B/A (%)
・パンフレット作成 43,000部	・パンフレット作成 43,000部	100
・テレビ、ラジオ 180回	・テレビ、ラジオ 188回	104
・新聞広告 1回	・新聞広告 1回	100
・ -	・税事業実施箇所バスツアー 5回	皆増

10. みんなの元気な森づくり支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 16市町
【実施時期】	平成22年4月
【調査結果】 アンケート対象 16市町	
1 この事業はあなたの市町の森づくり行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」31%、「役立った」69%、「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は森づくりに取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」19%、「取り組みやすくなった」69%、「これまでと変わらない」12%、「どちらでもない」0%
3 この事業を実施して団体や県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」44%、「好評であった」56%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」38%、「活用する」56%、「活用しない」0%、「未定」6%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」50%、「良かった」50%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	実施団体数 (団体) B	1団体当たりの事業費 (千円/団体) A/B	比 較 対 照
6,266	24	261	A県との比較 4,000千円、15団体 267千円/団体

3 進ちょく度

計画 (市町数) A	実績 (市町数) B	B/A (%)
16	16	100

11. 森林環境学習支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 12市町
【実施時期】	平成22年4月
【調査結果】 アンケート対象 12市町	
1 この事業はあなたの市町の森林環境教育行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」17%、「役立った」83%、「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は森林環境教育に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」17%、「取り組みやすくなった」67%、「これまでと変わらない」8%、「どちらでもない」8%
3 この事業を実施して県民の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」25%、「好評であった」67%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」8%
4 今後もこの事業を積極的に活用しますか。	「大いに活用する」33%、「活用する」67%、「活用しない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」33%、「良かった」67%、「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

事業費決算額 (千円) A	参加者・受講者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比 較 対 照
4,506	3,131	1.4	A県との比較 6,000千円、3,521人 1.7千円/人

3 進ちょく度

計画 (市町数) A	実績 (市町数) B	B/A (%)
12	12	100

12. 木の香る環境づくり支援事業

1 有効性

アンケート調査の概要	
【対象及び実施数】	事業を実施したすべての市町 14市町(施設整備4、間伐材有効利用8、木の良さ普及啓発11)
【実施時期】	平成22年3～4月
【調査結果】 アンケート対象 14市町	
1 この事業はあなたの市町における環境森林行政に役立ちましたか。	「非常に役立った」43%、「役立った」57%、 「役立たなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
2 この事業により、あなたの市町は木の良さ普及啓発に取り組みやすくなりましたか。	「非常に取り組みやすくなった」29%、 「取り組みやすくなった」57%、 「これまでと変わらない」7%、「どちらでもない」7%
3 この事業により実施(支援)したことによる市町民等の反応はいかがでしたか。	「非常に好評であった」43%、「好評であった」57%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%
4 今後もこの事業を積極的に活用したいと思いますか。(木の良さ普及啓発事業)	「大いに活用したい」36%、「活用したい」64%、 「活用したくない」0%、「未定」0%
5 とちぎの元気な森づくり県民税で、この事業が行われたことはよかったですか。	「非常に良かった」43%、「良かった」57%、 「良くなかった」0%、「どちらとも言えない」0%

2 効率性

施設整備事業 ()書きは間伐材 有効利用を含んだもの	事業費決算額 (千円) A	県産材使用量 (m3) B	1m3当たりの事業費 (千円/m3) A/B	比較対照
	20,837 (24,405)	30.0 (144.9)	695 (168)	平成20年度事業実績 268(161)千円/m3
木の良さ普及啓発事業	事業費決算額 (千円) A	参加者数 (人) B	1人当たりの事業費 (千円/人) A/B	比較対照
	3,288	3,897	0.8	平成20年度事業実績 0.7千円/人

3 進ちょく度

区 分	計 画 (施設数・回数) A	実 績 (施設数・回数) B	B/A (%)	備 考
施設整備事業等	12	12	100	施設数4、間伐材利用8
木の良さ普及啓発事業	64	64	100	イベント等実施回数

13. 特色ある緑豊かな地域推進事業

1 有効性

(1) 森づくり活動

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 森づくり活動参加者 75名 【実施時期】 随時	
【調査結果】 アンケート対象 75人	
1 今回の活動により、森づくりについて理解が深まりましたか。	「非常に深まった」53%、「ある程度理解が深まった」44%、 「あまり理解が深まらなかった」1%、 「これまでとほとんど変わらない」1%
2 今回の活動は、あなたの今後の森づくり活動に役立ちますか。	「大いに役立つ」53%、「ある程度役立つ」40%、 「あまり役立たない」4%、「役立たない」1%、 「どちらとも言えない」1%
3 今後も森づくり活動等に取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」37%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」56%、 「あまり取り組みたくない」1%、 「取り組まない」0%、「わからない」5%
4 今回の活動は、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して行っています。これらの活動が「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」57%、 「よかった」35%、 「よくなかった」3%、 「どちらでもない」5%

(2) 樹木保全

アンケート調査の概要 【対象及び実施数】 保全した樹木に係る地域住民 35名 【実施時期】 随時	
【調査結果】 アンケート対象 35人	
1 今回の事業により、地域のシンボルとなっている樹木が守られるという安心感をいただきましたか。	「非常に得られた」49%、「ある程度得られた」37%、 「あまり得られなかった」3%、 「これまでとほとんど変わらない」11%
2 今回の事業は、地域のシンボルとなっている樹木を守り、将来に引き継いでいく意識の高まりに役立ったと思いますか。	「非常に役立った」46%、「ある程度役立った」43%、 「あまり役立たなかった」3%、 「これまでとほとんど変わらない」8%
3 今後、名木などの身近な樹木に親しみ、守り育てていく活動に、地域ぐるみで取り組みたいと思いますか。	「これまで以上に取り組みたい」29%、 「これまでと同じ程度に取り組みたい」54%、 「あまり取り組みたくない」11%、「取り組まない」0%、 「わからない」6%
4 この事業が、「とちぎの元気な森づくり県民税」により行われてよかったと思いますか。	「とてもよかった」43%、「よかった」49%、「よくなかった」0%、 「どちらでもない」8%

2 効率性

区分	事業費決算額 (千円) A	参加者数・本数 (人・本) B	1人・本当たりの事業費 (千円/人・本) A/B	比較対照
森づくり活動	1,714	3,131	0.5	A県との比較 1.6千円/人
樹木保全	3,136	4	784	過去類似事業との比較 1,117千円/本

3 進ちょく度

計画 (市町数) A	実績 (市町数) B	B/A (%)
5	5	100

税事業の実施方法及び今後のあり方に関する主な意見

1 全般

3年目になるが、税事業は限られた財源、期間で実施するものであるから、奥山林や里山林整備のハード事業中心で良い。

ソフト事業については、同じような内容と思われる事業もあるので、見直して整理する時期ではないか。なお、見直しにあたっては、できるだけ市町村が行う事業とすることが望ましい。

2 奥山林整備事業

伐り捨て間伐が本当に森林を守るために良い方法なのかを考える必要がある。また伐り捨てはもったいないとの意見も多い。全部を搬出すると採算性の問題もあることから、搬出する箇所としない箇所を見極め、国の予算を有効に活用しながらできるだけ搬出間伐を行うことを考えてほしい。

獣害対策で他の県では資材を供給するだけというケースがある。本県でも同様にして、もっと多くの面積で対策を実施した方が良い。

3 里山林整備事業

整備された後は基本的に地元で管理していく考え方で良いが、税で支援する期間の整備後4年を経過した後、地元で継続して守り育てていくというシステムづくりが必要である。

4 木の良さ普及啓発事業（机・いす配布）

「なぜこの机・いすが木製になったのか」ということを説明することにより、使用する児童、生徒が木を使うことを通して森林整備の必要性などについて理解を深められるよう、教育委員会と連携する必要がある。

森林が少ない市町では、自分が納めている税の使われ方を身近に感じる人は少ない。税に対する理解促進を図るためには、そういう地域に十分配慮して机・いすを配布することも必要である。

5 森林環境学習推進事業

森林環境学習資料「とちぎの森林・自然環境」を配布するだけでなく、教育委員会とも連携し、今後有効に活用されるようにしていく必要がある。

教育委員会と連携し、一定の学年で森林環境学習のカリキュラムを組み、その資料として森林環境学習資料「とちぎの森林・自然環境」を必ず使うことを決めれば、森林の大切さへの理解が深まる。

6 県民広報事業

里山林整備箇所等への税で整備した旨のPR看板等の設置について、現地では確認しにくいこともあるため、大きなものを設置するなど、工夫してほしい。

とちぎの元気な森づくり県民税事業評価委員会

1 委員一覧（五十音順 敬称略）

印 南 一 子	公募委員	
大 柿 悦 雄	株式会社とちぎテレビ常務取締役	
小 野 ナ ツ	栃木県地域婦人連絡協議会会長	
笠 原 義 人	宇都宮大学名誉教授	（委員長）
古 口 達 也	栃木県市町村林野振興対策協議会会長	
児 玉 博 昭	白鷗大学法学部准教授	
齋 藤 正	林業者	
高 村 正 勝	日光地区森林組合代表理事組合長	
床 井 信 一	栃木県中小企業団体中央会専務理事	
新 嶋 高 行	2000年記念の森の会運営委員長代行	
萩 原 節 夫	公募委員	
原 田 い づ み	弁護士	
山 口 厚 江	作新学院大学・日本大学非常勤講師	（委員長職務代理）

2 委員会の開催経過（H22.8.31現在）

平成22年度

第1回	平成22年 6月14日（月）	平成21年度事業実施箇所の現地調査
第2回	平成22年 7月26日（月）	平成21年度事業評価資料（案）に関する意見交換
第3回	平成22年 8月31日（火）	平成21年度事業評価報告書（案）に関する意見交換

